

ニュース いちしNEWS

一志総合支所
地域振興課 発行
電話293-3000
FAX293-5544
令和2年3月16日
第45号

津市消防団出初式！

1月12日（日）にメッセウイングみえにて「津市消防団出初式」が行われました。

市内各地から参加した各方面団は、分列行進、駐車場での放水訓練と終始きびきびと活動していました。一志方面団は武川方面団長以下約50名の団員が参加しました。

また、午後からは一志体育館において、長年消防団員として地域の安全安心にご尽力いただいている方々に対して永年勤続などの表彰伝達式が行われました。



一志町火災・救急概況（令和元年中）

令和元年中に津市で発生した火災は115件で、このうち一志町管内では、3件（表1参照、全体の約2.6%）発生しています。

また、令和元年中に津市の救急隊が出動した件数は15,899件で、このうち一志町管内では、766件（表2参照、全体の約4.8%）でしたが、一志分署救急隊が出動した件数は、管轄外も含めると1,002件でした。

【表1】 令和元年火災種別発生件数

建物	車両	林野	その他	計
1	0	0	2	3

【表2】 令和元年救急種別発生件数

急病	一般負傷	交通事故	その他	計
520	138	42	66	766

真盛上人ゆかりの地を訪ねて

12月2日（月）に一志町歴史語り部の会主催による「一志の歴史文化魅力発信事業」の第2弾として、地元一志町大仰で生まれ、後に天台真盛宗の開祖となる真盛上人ゆかりの地をめぐるバスツアーが行われました。

当日は、大仰地内にある真盛上人誕生の際に使われたといわれる「産湯の井戸」がある誕生寺や幼少期の逸話が残る笠着地藏、両親のお墓がある成福寺などを訪ねた後、真盛上人が最後に開いたお寺である白山町の成願寺を訪れました。

参加者の皆さんは、語り部会員や住職の話を熱心に聞きながら真盛上人の人となりや功績に思いをはせていました。



令和2年度 児童館年間行事のご案内

一志児童館（一志町高野160番地699）（電話）059-293-0936

川合児童館（一志町八太1008番地1）（電話）059-293-3711



一志地域の児童館は、0歳から18歳未満までの児童のための福祉施設です。子どもたちに遊び場と遊びを提供し、遊びを通して児童が心身ともに健やかに成長するお手伝いをします。

児童館名 月	一志児童館の取り組み	川合児童館の取り組み
4	鯉のぼり作り	鯉のぼり作り
5	ビーズを使った小物作り	運動遊び
6	七夕飾り作り	七夕飾りと短冊作り
7	いきいきサロンとの交流会：夏の季節の小物作り	暑中見舞いを書く
8	福寿草との交流会：こけ玉作り	避難訓練
9	手芸・卓球・一輪車遊び	ビーズを使った小物作り
10	ハロウィン飾り作り	ハロウィン飾り作り
11	手芸・卓球・一輪車遊び	川合フェスタ（ビンゴ大会）
12	クリスマス飾り作り	クリスマスイベント
1	折紙で干支の壁掛け作り	干支の絵馬・節分の小物作り
2	いきいきサロンとの交流会：ひな人形作り	ひな人形作り
3	手芸・卓球・一輪車遊び	毛糸のボンボン飾り作り

※ 上記の取り組み以外にも、卓球、一輪車、バドミントン（川合児童館のみ）などの運動やブロック、ゲーム等の遊びができます。

※ 開館時間 10:00～12:00、13:00～17:00まで。（日・祝日・年末年始は休館です）

※ 詳しくは各児童館へお問い合わせください。



一志人権フェスティバル

12月7日（土）に一志農村環境改善センターにて一志人権フェスティバルが開催されました。

ホールでは、ポスターや標語などの人権作品の表彰式のあと、地域の学校から人権についての学習や取り組みなどの舞台発表がありました。

同時に、人権ポスターのほか、人権活動の展示も行われました。

新ちゃんのお笑い人権高座として行われた露の新治さんの講演会は、笑いがあふれる社会は人権が大切にされてこそ実現できると感じられる時間となりました。



正月遊びをしよう！

1月16日（木）に川合文化会館と川合子育て支援センターとの共催で、地域との交流を深めることを目的にふれあい事業が実施されました。

この日は、9名のミニデイサービス事業あいあいサロンの皆さんと13組の親子が川合文化会館ホールに集まり、職員らによる「てぶくろ」のオペレッタを見たり、「バスごっこ」などのリズム遊びやカルタ取り、バルーン遊びを楽しみました。また、お正月遊びのコーナーではすべて手作りのおもちゃが用意され、あいあいサロンの皆さんや保護者に教わりながら福笑いや羽子板、お手玉やけん玉、竹とんぼ、コマ、ボウリングなどで一緒に遊びました。

参加者たちは昔を懐かしく思い出したり、無邪気な子どもたちの姿に思わずにっこり微笑んだり、子どもたちと触れ合って楽しい時間を過ごせたようです。



歴史語り部の会が日頃の活動を発表

1月29日（水）に市内のボランティアガイド団体（13団体）で構成する津市ボランティアガイドネットワーク協議会（西田久光会長）主催の研修交流会が津市高野尾町の「朝津味」で開催されました。

3団体の発表があり、最初に一志町歴史語り部の会が史跡巡りや歴史講演会をはじめ子どもイベントや資料館の案内など令和元年度の様々な活動の様子を、語り部会員自らナレーションを吹き込んで作成した自作ビデオで紹介されました。



地元を誇りに思い、地域の歴史文化を大切にしている活動の様子が伝わる素敵な発表となりました。



波瀬新春の集い

1月11日（土）に波瀬ふれあい会館にて、矢頭の子クラブ主催による波瀬新春の集いが開催されました。

おやじバンドやコーラス、大正琴による新春を祝う演奏では、集まった多くの聴衆を終始にこやかに聞かせていました。

矢頭っこ広場では、餅つき大会が行われ、つき立ての餅がふるまわれ、餡子やきな粉、おろしのほかカレーも用意され、あっという間にみんなの胃袋に吸収されていきました。

初夢抽選会も行われ、皆にこやかに新年を楽しませていました。



もうすぐ桜の季節ですね！

令和になって初めての桜の季節です。

一志町にもたくさんの鑑賞スポットがあります。ぜひ青空の下、散歩に出かけましょう！



シリーズ 地域の名所旧跡・・・その⑮



(郷土資料館の全景)



JA三重中央郷土資料館（高野地区）

一志地域には、旧石器時代から室町時代に至る多くの遺跡があり、古くから人々の生活が営まれていたことが分かっています。また、白鳳時代の寺院と伝えられる浄泉寺跡や班光寺跡からもわかるように、大和と伊勢を結ぶ道を通じて盛んに大和文化が入ってきました。

こうした風土や暮らしが育んだ農具や生活用具を収集し、先人の足跡を残すため、1985年（昭和60年）に一志町農協（現三重中央農協）が郷土資料館を開館し、その後2001年（平成13年）1月に「三重まんなか・まちかど博物館」に指定され、地域農業を学ぶ格好の施設となっています。

2005年（平成17年）12月に農業倉庫を改築し、養蚕・製糸・農林業・生活用具に加え、一志地域の歴史関係資料（旧石器時代～白鳳時代）を展示しています。

古くから養蚕業が盛んに行われてきた一志地域ですが、時代とともに養蚕・製糸業は衰退しました。当時の記憶を風化させまいと、地域の皆さんで作る蚕の研究グループと一志町歴史語り部の会とでJA三重中央の倉庫を利用して蚕を育てています。

また、毎年地域の就学前の子どもたちが蚕の見学に、市内の小学3年生が社会見学として資料館を訪れ、語り部の会が案内しています。

資料館は、毎週土曜日9：30から16：00まで開館しており、語り部の会がボランティアガイドとして皆さんをお待ちしています。また、土曜日以外で訪れたいという方は、別途事前予約により見学が可能です。

（連絡先：JA三重中央企画課 ☎059-293-5000）

